



霧が丘

令和4年3月25日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

絶えず前進し続けてきた一年間

校長 関口 和弘

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じての学校生活が続きました。9月は分散登校となり、クラス全員で集まることができない1か月間でした。楽しい昼食の時間も、同じ方法を向いて黙食でした。6年生以外の宿泊学習も実施することができませんでした。楽しみにしていた活動が次々に中止となったり、縮小されたりする中で、児童生徒はけっして投げやりになることなく、前向きに学校生活を送ってきました。

小学部のきりっ子運動会や中学部の体育祭では、児童生徒の成長を保護者の皆様感じていただけたことと思います。10月末の中学部の学習発表会（あすなろ）では、生徒たちは、前期課程と後期課程のつながりの中で身に付けてきた表現力を存分に発揮して、どのクラスも質の高い演劇が仕上がりました。学習では、今年度導入された一人一台端末を効果的に活用した授業を工夫してきました。児童生徒の端末活用スキルが、一年間でかなり向上しました。コロナ禍で従来通りの学習活動ができない中ではありましたが、教職員は「児童生徒の学びを止めない」を合言葉に授業を進めてきました。子どもたちもそれによく応え、学習や生活の意欲を失うことなくよく取り組んできました。コロナ禍においても絶えず前進し続けてきた一年間でした。

3月9日に9年生96名が本校を巣立っていきました。一人ひとりが堂々とした態度で卒業証書を受け取りました。小中一貫校・義務教育学校という特色ある学校で9年間学んできた生徒たちが、本校で身に付けたことを土台として、それぞれの進路先でますます活躍してくれることを期待しています。また、3月19日には、107名の6年生が修了証書を受け取りました。6年生もとても立派な態度でした。前期課程で学んだことや経験したことを活かして、後期課程（または中学校）で、充実した学校生活を過ごし、さらに成長できる3年間となることを期待しています。1～5年生、そして7・8年生の皆さんも、まもなく進級となります。「すすんで挑み、自分をみがく」ための次のステップに入ります。一人ひとりが、新たな目標をもって新年度をスタートすることができることを願っています。



このように無事に年度末を迎えることができたのは、保護者・地域の皆様のお力添えのお蔭です。新たな生活様式の中でも、PTA活動やボランティア活動等でご協力いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。コロナ禍が今後どうなっていくのか、なかなか見通しがもてない状況ではありますが、現状をしっかりと受け止めつつ、児童生徒の学びを止めることなく教育活動に取り組み、今後も絶えず前進してまいります。来年度も本校を見守っていただけましたら幸いです。一年間ありがとうございました。

お知らせ

8年生の江崎由妃乃さんが、33回読書感想画横浜市コンクールにおいて、毎日新聞社横浜支局長賞を受賞しましたのでご報告させていただきます。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や、学校からのお知らせを随時更新しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード